

夢のかけはし



大きな夢を胸に
次のステージへ

右利きのサウスポースタイル。階級はライトフライ級（46～49kg以下）。今春、鹿屋工業高校を卒業し、駒澤大学に進学。高校に入学した頃から、スニーカー集めが趣味だと話す。好きな食べ物は焼肉と甘いもの。（18歳）

今年度まで鹿屋工業高校ボクシング部に所属し、インターハイ、国民体育大会、全国高校選抜大会で計5回優勝しました。ボクシングを始めたのは小学5年生のときでした。きっかけは私が高校3年生になる2020年に鹿児島県での国体開催が決定し、鹿児島県チームのボクシング監督を父が務めるようになつたこと。「この国体で優勝しよう」と父から誘われて、ボクシングを始めました。

中学校では陸上部に所属して、スタミナを強化し、高校ではボクシング部に所属。高校時代で印象に残っているのは、最初の全国大会だった1年生のインターハイで

す。高校入学前の目標は、2年の時にインターハイと国体で優勝することだったので、優勝を強く意識することはありませんでした。が、力を出し切り優勝することができました。高校の全タイトル8冠を意識し始めたのも、この優勝があつたからです。新型コロナウイルスの影響で、残り3つの大会が中止になつてしまつたことはとても残念でした。

自分の強さの源は2つあります。1つ目は、内容を変えて毎回練習で取り組んでいるフィジカルトレーニング。2つ目は、母が毎日栄養を考えながら作ってくれる3食の食事です。この2つによつ

て自分の体の強さが養われたと思っています。

4月からは東京の大学に進学し、ボクシングに励みます。当面

の目標は、大学1年時から全日本選手権で優勝し、2023年の

「かごしま国体」で個人の優勝は

もちろん男女総合優勝の天皇杯を獲得すること。その勢いのまま、2024年のパリオリンピックで、同じジムに所属している岡澤セオン選手と一緒に金メダルを取りたいです。

大学でしつかり結果を残して、鹿屋の人に喜んでもらいたいと思っています。また、自分の活躍で、全国の人に鹿屋のことをもつと知つてもらいたいです。

高校ボクシング5冠

あらたけ かずま
荒竹 一真 さん



【右】ジムの会長を務める父俊也さんを相手にしたミット打ちの様子
【左】共に練習に励むジムのメンバー